

令和2年8月23日  
江南市ソフトボール協会

## 「新型コロナウイルス感染拡大予防対策」について

残暑の候、協会役員・チーム関係者のみなさま方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、世間では新型コロナウイルス感染拡大がまだ収束せず、現在なおも予断を許さない状況であります。江南市ソフトボール協会では、各チームや大会関係者が安心してソフトボールを楽しむことができるよう、別紙のとおり「新型コロナウイルス感染拡大予防対策」を作成しましたので、各チームおよび協会役員におかれましては、これらの事項を遵守していただきますようお願い申し上げます。

※下記予防対策については、公益財団法人日本ソフトボール協会が定めた「感染拡大予防ガイドライン」に沿って作成しておりますが、今後の感染状況を踏まえて逐次見直すことがありますので、ご注意ください。

# 新型コロナウイルス感染拡大予防対策

江南市ソフトボール協会

## ① 来場制限について

- チーム関係者の来場人数について、ベンチ入りメンバー以外は最小限にとどめる。
- 参加当日の朝に発熱（37.5℃以上）、咳、倦怠感などの症状がみられる場合は来場を禁止する。
- 観戦者は別途定める観戦エリアにて間隔を空けて観戦する。

## ② 感染予防について

- マスク着用の徹底（プレイ中の選手や当該審判員は例外）
- 入場の際に消毒液での手洗いを徹底する（管理棟前及び各面バックネット裏に消毒液を設置）
- 管理棟などの施設は換気のため、密閉を避ける。
- 打順表の記入はフルネームにて行う（施設利用名簿として行政に提出します）

## ③ 競技上の留意点について

- バット、ヘルメット、グローブ、打撃用手袋、ロジンバッグなどは各選手が使用し、可能な限り、他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具については、こまめに消毒を行う。
- 唾を吐く行為を禁止する。
- 選手、特に投手は指を舐めてはいけない。
- 握手、ハイタッチ、グータッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
- グラウンドレベルでの円陣は控える。
- ベンチ内での選手間の距離は、最低 1 mを確保する。
- ベンチ内から声援や指示を出す場合は、対人距離に注意する。
- 試合前の打順表最終確認の際は、可能な限りお互いの距離を取り監督、審判の握手は行わない。
- 監督が選手交代の通告等で審判に近づく際は最低 2 mの距離を保つ、もしくは横並びで行う。（飛沫感染の防止）
- 試合開始時の整列及び礼は、球審の集合準備の合図で両チームがベンチ前に整列し、その場で礼をして行う。試合終了時も同様の形態とする。

## ④ 協会からの依頼事項について

- 消毒液を各チームでも持参しベンチ内に用意すること。
- ロジンバッグは協会では準備しないので各チームで準備すること。
- 試合参加者については提出された打順表で把握するが、試合参加者以外は協会では管理しないので各チームにて把握すること。
- 新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者の試合会場への立ち入りを禁止するが、それによって欠員が出ても延期などの処置はしない。また、チーム登録選手に上記該当者が出た場合は必ず協会事務局に報告すること。
- 協会関係者・審判員などが新型コロナウイルスの感染者・濃厚接触者となり、その結果、大会運営に支障をきたした場合には、試合日程を変更することもあるのでご承知おき下さい。

以 上